

- ◆第2回旨牛喰会開催 in 鹿角市中滝ふるさと学舎
- ◆首都圏で鹿角産品PR!
(WATERRASマルシェ・地産千消フェアほか)
- ◆起業家体験プログラム～ばんび☆バザール開催
- ◆チャレンジショップオープン

かづの RenKei

プラットフォーム通信

めえべごかい

第2回 旨牛喰会が開催されました

10月12日(土)、鹿角市中滝ふるさと学舎にて「第2回旨牛喰会」を実施しました。昨年に続き2回目の事業となりますが、紅葉を楽しみいただきながら、かづの牛1頭購入のオーナーと地元の生産者との交流を深めてもらうことを目的に開催しました。

当日は、東京からオーナー家族約10組ご参加頂き、かづの牛のほか、三ツ矢沢自治会の「漬け物」や花輪ふくし会の比内地鶏等、地元の食材を使い、大変喜んでいただきました。

かづの牛については、赤身の多い肉として知られていますが、それぞれの部位ごとに各自が好みの焼き加減で食べて頂く方法は、かづの牛の良さを十分に堪能していただくには最適の方法だったと思います。会場では、7月に収録されたのかづの牛PRビデオの放映、この撮影に協力頂いた湯沢栄喜氏の鹿角牛追い唄の披露などを通し、オーナーと地元生産者の交流を深めて頂けたと思います。

かづの牛は増頭計画が計られておりますが、まだまだマーケットは、黒毛和牛の肉の流通市場に対し0.1パーセントにも満たない状況です。出荷体制が整った時、出口対策が有効に整備されているかがもう一つの課題となりますが、オーナーと生産者の交流を通してかづの牛のブランドが向上し、マーケットに広まっていくことが期待されております。



旨牛喰会の様子



かづの牛食比べ!!

WATERRASマルシェで鹿角りんご大好評!



試食も大好評!



鹿角りんご/左から見林・ト牛・夢ひかり

10月18日(金)～19日(土)、千代田区淡路町のWATERRASマルシェで「鹿角りんご」の販売・マーケット調査を行いました。林檎は、首都圏では持ち運びに不便、他出展者との差別化が難しいなどマルシェでは不人気の商材でしたが、早生種の収穫が始まり市場が品薄なこと、鹿角に明確に味の違いが分かる品種が存在すること、マルシェ周辺にターゲットとなる富裕層が存在すること等、売れる条件が整っていることが立証されたマーケティング調査となりました。

マルシェ開始の午前11時から徐々に売れ始め、正午頃には近隣のOL層にも受け入れられ、増販する事が出来ました。販売価格は、他出展者の動向を見ながら決定する予定でしたが、消費者とのやり取りの中で適正価格なるものが少しずつ構築され、他出展者が100円前後で販売している中、200円での販売となりました。結果的に価格の表示の無いままの販売でしたが、生産者と消費者の中での信頼関係と、商品の信頼性・価格価値が十分マッチングした状況が得られました。また、生産地域の気候的な特性や、収穫時期、こだわりを持った作り方などをセールストークの中で織り交ぜたことが、購入の動機付けにもつながったと思います。12月には晩生種の林檎のマーケティングも検討しており、価格、市場性、需要動向等調査し、収益の上がる販売展開を考えて行きたいと思っています。

ちさんちしょう

地産千消 神田で鹿角フェア開催

10月21日(月)～11月2日(土) 神田界隈の飲食事業者6店舗で、鹿角のきりたんぽをメイン食材に使用しオリジナルメニューを提供する地産千消「第1回地方フェア」が開催されました。

この事業は、先の東京プリンス食事に出席頂いた、都内で外食事業を展開する(株)ワイシーシーデータシステムの遠藤和孝氏の発案と(株)クロスブリッジ、NPO法人農商工連携サポートセンターとの共催で実施に至った事業です。

神田地域では飲食店が数百件も軒を並べており、他店との差別化やオリジナル化が必須の条件となっております。

「地方フェア」は首都圏の飲食事業者が抱える問題を地域がフォローする構図になっていますが、地元鹿角での抱える問題とマッチングした事業と捉える事が出来ます。そういう点では、この企画は先進的な事例といえますが、事業の立案から実施に至るまで期間が短く、販促、予算についても今後精査する必要も多々あると思います。本事業によっての地元での経済効果や今後の取引についても調査、検証をして行く事で更なる販路拡大に繋げて行きたいと思っています。



店内は鹿角一色



満員の店内

【地方銀行フードセレクション2013レポート】

10月21日(月)～22日(火)東京ビッグサイトで行われた「地方銀行フードセレクション2013」に秋田県畜産協同組合鹿角支所が出席しました。このイベントは、食品スーパーや百貨店、ホテル、商社などの様々な分野のバイヤーから、全国の地域性豊かな食材を見て、触れて、試食していただく展示会です。

最近、テレビやメディアなどで赤身の牛肉が取り上げられる機会も増えたことから、会場では短角牛に興味を持ち、価格面や出荷頭数などについて熱心に質問をする方も多くいました。来場者からは、他県のブースの短角牛と比較して「一番美味しい」や「牛肉本来の味を感じる」など高評価をいただきました。

また、バイヤーの中には、前向きな反応を示してくださった方も多く、後日、食材試食会での食材提供をするなど“つながり”を持つことができました。出展事業者との情報交換や、バイヤーからの市場ニーズの確認ができたことで、今後の事業展開の参考となる有意義な展示会となりました。



畜協ブース

【起業家体験プログラム～ばんび☆バザール～】



“フラワーショップ友”開店!!!



商品PR中!!!



フラワーベース大盛況

鹿角市内在住の小学3年生～6年生を対象とした小学生向け起業家体験プログラム「ばんび☆バザール」を11月2日（土）～3日（日）に実施しました。

3回目の開催となる今回は、鹿角市内で若手経営者として活躍されているかづの商工会青年部との共同開催として、商材の選定、プログラム運営など連携して取り組みました。

第1日目は、かづの商工会を会場に会社設立から事業計画書の作成、それに基づく資金調達、商品製造、広告宣伝ツールの作成までを行い、第2日目は、販売活動場所を花輪文化祭会場内に設け、それぞれに製造した商品を販売、午後からは決算報告、借入金返済、利益分配、社会貢献を行いました。

初めての販売活動に戸惑い、なかなか大きな声を出せなかった児童たちも、来場された方々に手作りのポスターで商品のPRを行い、元気いっぱい「いらっしゃいませ!」という声を会場に響かせ「販売の難しさと楽しさ」を体験しました。販売活動を2時間と設定していましたが、40分程で用意していた商品を完売することができました。

プログラム体験後のアンケートで参加児童全員が「楽しかった」と回答していましたが、プログラムの内容は「難しかった」「まあまあ難しかった」とも回答しており、「難しい」けれども「楽しい」と一見矛盾していますが、起業家教育には欠かせないチャレンジ精神を感じてくれたものだと思います。

今回のプログラムは、小学生を対象に2日間という短期日程で行いましたが、商品企画の段階から長期プランとして取組むことも可能であり、その場合は中学生、高校生、社会人それぞれの事業スキームに合わせたカリキュラムの実施も検討していきます。

鹿角地域が「起業家教育先進地」として確立されていくことも、「鹿角ブランド」の1つになればと期待しています。

MADE in 鹿角 ヒト情報

～チャレンジショップオープン～「nail + massage has」

鹿角市とかづの商工会が支援しているチャレンジショップ「nail + massage has（ネイルプラスマッサージハズ）」が期間限定（11/4～2/28（予定））で鹿角市花輪上花輪にオープンしました。チャレンジショップ開設事業はこれまでに経営などの経験がなく、これから商店経営や起業を目指している方（高校生以上）を対象として、独立開業に向けた実践経験を積んでいただき経営ノウハウを習得していただく事業です。

平成25年度希望者を6月に募集し、応募いただいたのが店主・坂本寿美子さんです。前職の経験を活かし、出張ネイルサロンの形をとっていましたが、ご利用いただいているお客様からの要望もあり店舗を構える気持ちが強くなりました。

クオリティの高いジェルネイルを低価格でご提供するとともに、世界一気持ちのいいマッサージと言われるタイ古式マッサージとハンドメイド雑貨販売をいたします。

「has」とは、ストレスを外す、気持ちが弾むという意味を含めて店名を決めました。店舗カラーはビタミンカラーを取り入れ、女性が元気になるお店にしたい。」と坂本さん。

たくさんのお客様に立ち寄っていただき、ご意見やご感想をお話いただけたら嬉しいです♡

【お問い合わせ】 nail + massage has ☎080-5425-7749 メール:has.sumikoro@gmail.com

営業時間 10:00～16:00（日曜日定休）

ブログ <http://ameblo.jp/sumikoro-loveorenge>



店舗入口



ビタミンカラーを取り入れた店内

つぶやき ～コラム～

2020年、夏季オリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定した。1964年以来、56年ぶりの夏季五輪開催で、国民の多くは初めての体験になるのではないだろうか。

アベノミクス効果もあり景気回復の兆しが見え始めたなか、国民の「期待」はさらに高まり、五輪効果はどのように表れるのか、地方や私たちの生活への影響とは…。

これからの7年間。世界各国からの注目を受けながら、準備に向けて突き進むことになる。五輪開催を機に地方の良さ（温泉や観光資源、食など）を全国や世界に知ってもらい、東京から全国各地の観光地へ導くような取り組みを考えることも大事ではないだろうか。そのために、まずは私達がオリンピックを楽しむこと、そしてなにより「おもてなし」の心を大切にしていきたい。

【鹿角市ブランドアップ補助金の活用について】

地域に根差したブランド商品を目指し、地域資源を活用した新規性のある商品の開発や、研究、販売促進などを行う事業者などを支援しています。（補助率：事業費の2分の1）

事業採択は審査会等を経て決定しますので、時間に余裕を持って産業連携推進室までご相談ください。

①農工商連携ブランドアップ事業費補助金（補助上限額150万円）

②地域資源・経営ブランドアップ事業費補助金（補助上限額50万円）

※今年度もすでに補助金を活用し、新商品の開発が進められています。相談はお早目に！